

## フードデリバリー「Uber Eats」 神戸でサービス開始

**神** 戸市内3区内(中央区、兵庫区、灘区)で、「Uber Eats(ウーバーイーツ)」が7月31日から利用開始した。Uber Eatsとは、米Uber Technologies社が提供するフードデリバリーサービスで、提携飲食店の宅配メニューをスマートフォンアプリで注文できるというもの。配達には飲食店の店員ではなく、一般の人が配達員として担い、提携飲食店は投資することなくデリバリー事業に参加が可能になる。配達員は、身分証明書の提出や審査を経た上で個人事業主として登録し、ユーザーや提携飲食店から評価もされる。



©Uber Eats  
神戸では100以上の飲食店、100人以上の配達員で始動する。

同サービスは、2015年にアメリカでスタートして以来、世界35カ国200都市以上で展開。日本では2016年に東京で開始し、大阪市など徐々にエリアを拡大している。国内の提携飲食店は3,000以上、配達員は13,000人以上にのぼる。今後、さらにエリアを拡大していく予定。

## 神戸市 シビックプライド 総合8位に

**神** 戸市が、「シビックプライドランキング2018(関東・関西)」のトップ10にランクインした。同ランキングは、2008年より株式会社読売広告社が行っている「シビックプライド調査」に基づいて発表されているもので、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」の5つの指標によって評価づけされる。シビックプライドとは、その都市に対する住民の誇りや愛着のこと。自治体運営の施策を考えるヒントになりうると考えられている。神戸市は、「愛着」3位、「誇り」9位、「共感」15位、「継続居住意向」10位、「他者推奨意向」4位で、総合8位にランクイン。総合ランキング1位は港



※写真はイメージ

区(東京都)で、2位は文京区(東京都)、3位は中央区(東京都)と続く。関西圏内で総合トップ10に入ったのは神戸市と箕面市(総合6位)のみ。今回の調査は、関東・関西圏の人口10万人以上の151自治体を対象として、2018年3月に行われた。

## 北神急行 高校生の通学費一部助成

**神** 戸市は9月から北神急行を利用して通学する高校生に、通学費の一部助成を開始する。同路線は他の路線に比べて運賃が高額であることに加え、2015年度に行われた県立高校の学区再編によって遠距離通学をする生徒が増えたことから、生徒や保護者から要望の声が多く寄せられていた。助成額は、1カ月定期の場合は1,500円、3カ月は5,000円、6カ月は



10,000円。北神急行が独自に発行する学期ごとの定期の場合は、一律5,000円助成される。助成を受けられるのは、谷上駅で購入する場合に限る。対象者は1,000人程度と見込まれている。

## JR神戸駅で 「こどもきっぷ」を無料配布

**J** R神戸駅では、「こどもきっぷ」を幼児対象に無料配布している。JRに乗りしている人対象で、子どもひとりにつき1枚まで。同駅の中央改札口にある窓口に行き、「こどもきっぷ」を申し出ると、駅名と日付の書いたスタンプを押して手渡してくれる。枚数に限りがあるため、なくなり次第終了する。



切符は三種類あり、デザインは時期により変わることがある。

小学生以上になると小児切符の購入が必要だが、切符を持つことに喜ぶ幼児は多い。なお、おもちゃの切符のため、自動改札は通れないのでご注意ください。

## 大阪文化芸術フェスが今年も開催

**9** 月29日から11月4日にかけて、万博記念公園など府内全域で『大阪文化芸術フェス2018』が開催される。

同フェスは大阪府、大阪市、関西経済連合会や大阪商工会議所などで構成する「大阪文化芸術フェス実行委員会」が中心となって、万博記念公園や府内のホール、劇場などで、大阪が誇る上方芸能・上方演芸などをはじめ、音楽や演劇、アートなど、国内外のコンテンツをフェス期間内に集めて実施するもの。

大阪の文化芸術を楽しむ機会を創出するとともに国際エンターテインメント都市の実現を目指し、大阪の都市格の向上

を図って2025年国際博覧会の大阪開催につなげていきたいねらいだ。

昨年に続いて2度目の開催となる本年度は、大阪で結成され、30周年を迎えるウルフルズのコンサートをキックオフイベントとして行うことを決定した。

### キックオフイベントは ウルフルズ

**5** 月21日、同実行委員会の記者発表会が行われ、ウルフルズと松井一郎大阪府知事が登壇した。

昨年に引き続き同フェスを開催するこ

と、また9月29日に万博記念公園もみじ川芝生広場で同フェスのキックオフイベント、「ウルフルズがやって来る!ヤッサ2018 ガッチューOSAKA」が行われることを発表。松井知事は「今年はウルフルズがいっしょに大阪のパワー、ガッツを見せよう」と話した。

ウルフルズは、1988年に大阪で結成されるなど、大阪に深い縁がある。トータスは「サンコンは茨木、ジョンBは吹田出身



記者発表会の様子



で、僕は兵庫県の出身なんですけど、18歳の時に大阪へ出てきてみんなと出会った。大阪に育てられたので恩返しをしたいと思っていた。そういったときにこのお話があったので、本当にありがたいと感謝しています」と述べた。

大阪文化芸術フェスの内容は公式ホームページ(<https://osaka-ca-fes.jp>)で確認できる。

**【開催期間】**2018年9月29日(土)～11月4日(日)  
**【会場】**万博記念公園・大阪府内会場  
**【実施主体】**大阪文化芸術フェス実行委員会(構成団体)  
大阪府/大阪市/公益社団法人 関西経済連合会  
大阪商工会議所/一般社団法人 関西経済同友会  
公益財団法人 大阪観光局/  
公益財団法人 関西・大阪21世紀協会  
**【問い合わせ】**大阪文化芸術フェス実行委員会事務局  
(大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課内)  
06-6941-0351(大阪府庁 代表)

## 秋の全国交通安全運動

～2018年9月21日から30日まで実施～ 協力:兵庫県警察



例年、日没時間が急激に早まる秋口は、帰宅等で人や車の動きが活発になる時間帯と日没時間が重なり、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発する傾向にある。秋の全国交通安全運動を通じて、今一度安全運転への意識を高めよう。

- 【運動重点】**
1. 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
  2. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
  3. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
  4. 飲酒運転の根絶

**【歩行者】** 明るい色の服装や、夜光反射材、懐中電灯などを活用し交通事故を防止

自分の存在をアピールし、運転者に見つけてもらいやすい工夫しよう。また、通り慣れた道だからと油断せず「止まる」「見る」「待つ」を必ず実践する。

**【自転車】** 「自転車は車の仲間」ルールを守って安全運転

自転車の運転者は、交通事故の被害者だけでなく、加害者にもなり得る。夜間のライト点灯や信号の遵守などのルールを守り、事故を防ごう。また、ヘルメットの着用、夜光反射材を活用し、自分自身を守ろう。

**【歩行者】** 早めのライト点灯と、ハイビームの活用で危険を察知

夜間は、街灯など限られた照明の中での運転となり、視界が狭くなって歩行者が見えにくくなる。こまめにライトを切替え、ハイビームを積極的に活用して暗闇に潜む危険を察知しよう。